

第16回 飯田市地域史研究集会

山里社会の 歴史とくらし

近世の飯田・下伊那では、多くの村が山間部にありました。こうした山間部村落（山里）は、平野部の農業村落や城下町にとっても、建築用材や肥料・飼料、薪炭などの供給源として不可欠な存在でした。今回の研究集会では、近世〜近現代の飯田・下伊那の山里社会が、どのように成り立っていたのかを考えます。

第1部では、近世〜近代の山里社会を分析した研究報告をめぐって議論します。

第2部では、木沢と清内路という2つの地域を取り上げ、その歴史と現在を考えます。

日程 2018年8月25日（土）・26日（日）

主催 飯田市・飯田市教育委員会

会場 長野県飯田勤労者福祉センター（さんとびあ飯田）

〒395-0024 飯田市東栄町3108-1

資料代 500円（2日間共通）

※高校生以下無料・事前申込不要

2018
0825 → 26

飯田市歴史研究所

〒395-0803
長野県飯田市鼎下山538
TEL0265-53-4670 FAX0265-21-1173
E-mail iihrc@city.iida.nagano.jp

関連展示を飯田市立中央・鼎・上郷図書館で
8月25日（土）～9月27日（木）に開催します。



山里社会の歴史とくらし

近世の飯田・下伊那では、多くの村が山間部にありました。こうした山間部村落（山里）は、平野部の農業村落や城下町にとっても、建築用材や肥料・飼料、薪炭などの供給源として不可欠な存在でした。今回の研究集会では、近世～近現代の飯田・下伊那の山里社会が、どのように成り立っていたのかを考えます。第1部では、近世～近代の山里社会を分析した研究報告をめぐって議論します。第2部では、木沢と清内路という2つの地域を取り上げ、その歴史と現在を考えます。

2018年8月25日（土）10:00～17:00

第1部 山里社会—近世から近代へ

報告＝清内路郵便局と山里社会

小島庸平（東京大学）

コメント＝田中光（神戸大学）

報告＝近世初期の城下町建設と伊那の材木

吉田ゆり子（東京外国語大学）

コメント＝多和田雅保（横浜国立大学）

報告＝17世紀の樽木役の変質—脇坂飯田藩の樽木米を中心に

前澤健（高森町立高森北小学校）

コメント＝羽田真也（飯田市歴史研究所）

※ 昼食後に芸術鑑賞を予定しています。

2018年8月26日（日）10:00～12:30

第2部 山里に向きあう

《木沢地域をめぐって》

報告＝文化的中核としての木沢小学校

多和田真理子（國學院大學）

対談＝木沢の歴史文化を未来につなぐ

松下規代志（木沢地区活性化推進協議会）

田嶋一（國學院大學名誉教授）

《清内路地域をめぐって》

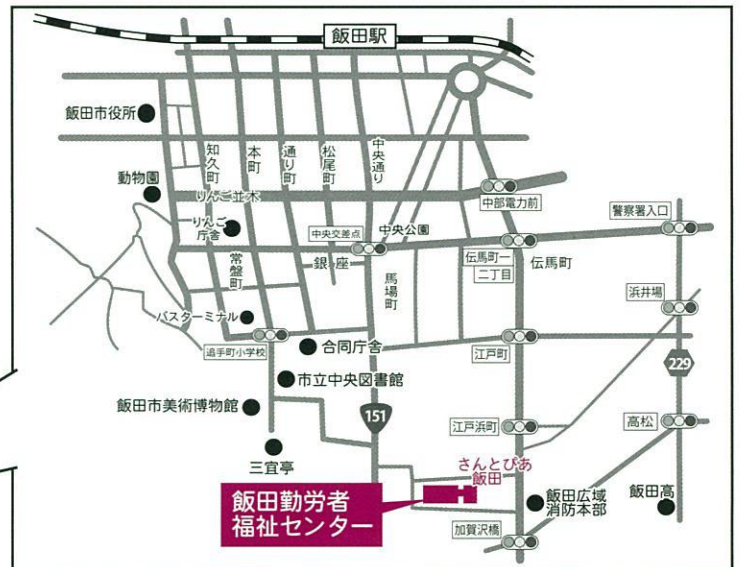
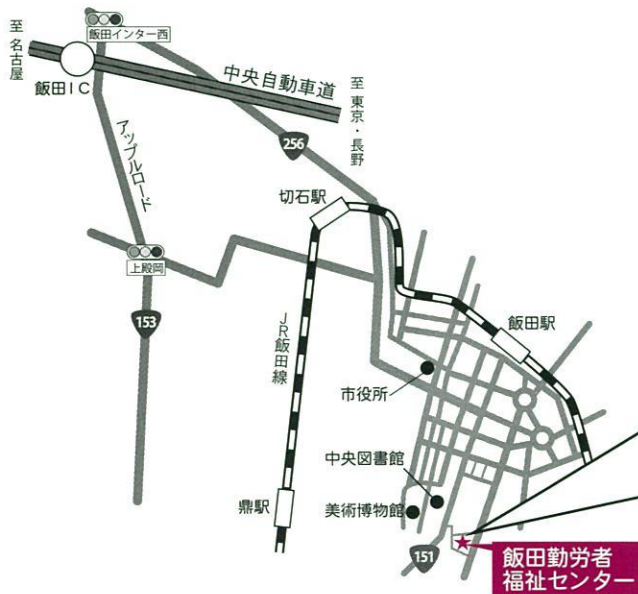
報告＝近世清内路の村運営

坂本廣徳（「清内路—歴史と文化」研究会）

報告＝「清内路—歴史と文化」研究会の調査と出会って

原和信（清内路こども会）

交通案内



飯田へのアクセス

- 高速バス** 各バス会社にて予約
 (東京から) バスタ新宿 → 飯田駅前 4時間
 (名古屋から) 名鉄バスセンター → 飯田駅前 2時間
- 自家用車** 中央自動車道
 (東京から) 八王子IC → 飯田IC 3時間30分
 (名古屋から) 名古屋IC → 小牧JCT → 飯田IC 1時間30分
- 鉄道** JR 飯田線
 (豊橋から) 特急ワイドビュー伊那路 2時間30分
 (辰野から) 2時間

会場へのアクセス

- 市民バス 循環線 (当日の出発/到着時刻)**
 行き 飯田駅前 9:30 発 → さんとぴあ飯田 9:37 到着
 帰り さんとぴあ飯田 12:42 発 → 飯田駅前 12:50 到着
 さんとぴあ飯田 16:42 発 → 飯田駅前 16:50 到着

- その他**
 飯田駅 → 徒歩 30分
 飯田IC → 車で 15分 (駐車場有り)

注意

付近にお店がありませんので、
 昼食を持参していただくことを
 おすすめします。